

『三度の食事が予防医学の原点です』

紫イペ (タヒボ)

アマゾン原産の「紫イペ」はノウゼンカズラ科の天然樹木で、内部樹皮抽出エキスにはNQ801 (ナフトキノン類)、パウロニン(抗炎症成分)をはじめ、健康に役立つ有効成分が数多く含まれています。

Q タヒボ (紫イペ) とは？

A アマゾン原産の広葉樹で正式学名をノウゼンカズラ科タバプイア・アベラネダエといいます。樹高は約30m、幹の直径は1.5mにも達し、赤紫色の花を咲かせることから紫イペと呼ばれ、「神からの恵みの木」としてその樹皮は貴重な薬として用いられてきました。

Q 紫イペはどんな種類のガンに効果があるの？

A 体中のあらゆるガンに効果があるとわかっています。紫イペは早期ばかりか進行したものや末期の患者さんも完治したり痛みなどの自覚症状が改善する人が少なくありません。また、抗がん剤の副作用が軽減されることもよくあります。しかも抗がん剤と違って副作用はほとんどありません。

Q 紫イペはどうやってガンを攻撃するの？

A ①抗腫瘍作用

ガン細胞などの悪性の腫瘍を直接攻撃する働きがあります。

②キラー細胞の働きを高めます

「ナチュラルキラー細胞 (NK細胞)」はガン細胞をいち早く見つけて殺すガン細胞の精鋭部隊で紫イペはこのキラー細胞の働きを活発にします。

③ガン栄養補給路を破壊

体内にガン細胞ができて増殖するとき血管が新しく作られてガン細胞が養われます。その新生血管を消去させてガン細胞の発生を止めます。

Q 紫イペにある活性酸素除去作用とは？

A 紫イペには活性酸素の攻撃を強力に抑制する効果があります。過剰な活性酸素は正常細胞中のDNA 遺伝子を変異させガンを発生させることがわかっています。

注意 ここで一つ注意していただきたいことがあります。紫イペはガンに対して万能薬ではありません。あくまでも西洋医学を中心として治療し、それに対する補助療法として考えていただきたいのです。上手に紫イペを用いることでガンの再発を遅らせたり予防できたりします。